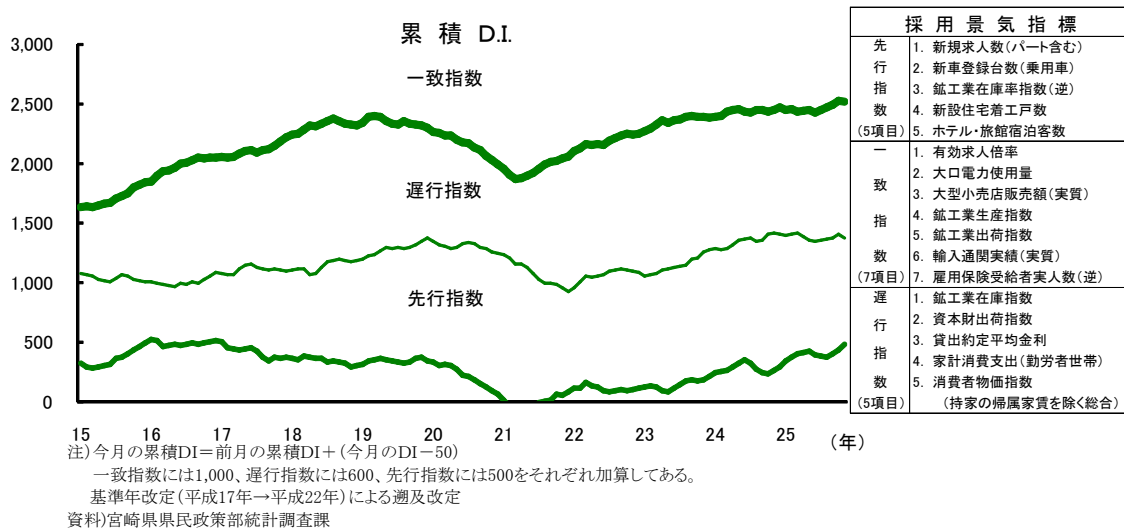


1. 景気動向指数

平成25年11月の景気動向一致指数は、有効求人倍率、大型小売店販売額（実質）、輸入通関実績（実質）の3項目がプラスとなり、全体では42.9%と5カ月ぶりに50%を下回った（7項目のうちプラス3、マイナス4）。

先行指数は、新規求人数（パート含む）、新車登録台数（乗用車）、鉱工業在庫率指数（逆）、新設住宅着工戸数、ホテル・旅館宿泊客数の5項目がプラスとなり、全体では100.0%と3カ月連続で50%を上回った（5項目のうちプラス5、マイナスなし）。

遅行指数は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）の1項目がプラスとなり、全体では20.0%と5カ月ぶりに50%を下回った（5項目のうちプラス1、マイナス4）。



景気動向指数：景気に敏感な経済指標を複数取り上げ、それぞれの値を3カ月前の値と比較して増加したものの割合を出したもの。景気の現状を表す一致指数と、一致指数に数カ月先行して動き、景気の先行きを表す先行指数、数カ月遅れて動く遅行指数の3つがある。一致指数が数カ月連続して50%を上回った場合、景気が上昇局面にあることを示す。

景気動向指数の算出方法

$$\text{景気動向指数} = (\text{プラス項目数} + \text{横ばい項目数} \times 0.5) \div (\text{プラス項目数} + \text{横ばい項目数} + \text{マイナス項目数}) \times 100(\%)$$

2. 鉱工業生産

11月の鉱工業生産指数は、104.0で前年同月比3.9%増と5カ月連続で前年を上回った。

主要業種別にみると、電子部品・デバイス（同24.8%増）、食料品（同3.5%増）、化学（同11.6%増）は前年を上回ったものの、繊維（同3.4%減）は前年を下回った。

3. 建設関連

① 公共工事

1月の公共工事請負高は、64億2,200万円で前年同月比42.6%減と4カ月連続で前年を下回った。

発注者別にみると、国が同96.1%減、県が同36.5%増、市町村が同35.0%減、その他（独立行政法人等）が同7.0%増となった。

② 着工建築物

12月の着工建築物は、棟数が587棟で前年同月比12.5%増、床面積は114,902㎡で同10.9%増となった。

内訳をみると、居住用は棟数同23.0%増、床面積同10.2%増となり、非居住用は棟数同16.4%減、床面積同11.8%増となった。

非居住用の床面積を用途別にみると、鉱工業用同149.9%増、商業用同9.4%増、サービス業用同40.0%減となった。

③ 住宅着工

12月の新設住宅着工戸数は、632戸で前年同月比7.5%増と5カ月連続で前年を上回った。

利用関係別にみると、持家は同31.6%増、貸家は同5.4%増、分譲は同66.7%減（マンションは前年50戸→本年0戸、一戸建てが同28戸→26戸）となった。

4. 個人消費関連

① 大型小売店販売動向

12月の大型小売店販売額は、99億1,600万円で前年同月比2.9%増と2カ月連続で前年を上回った。

商品別では、衣料品は24億1,000万円で同5.7%減、飲食料品は43億5,900万円で同7.7%増、その他計は31億4,600万円で同3.8%増となった。

② 乗用車新車販売動向

1月の乗用車新車登録台数は、2,280台で前年同月比32.6%増と5カ月連続で前年を上回った。

車種別にみると、普通車は1,060台で同50.6%増、小型車は1,220台で同20.1%増となった。

5. 空港乗降客数

12月の宮崎空港乗降客数は、24万6,323人で前年同月比8.7%増と24カ月連続で前年を上回った。

乗客数は11万2,327人（前年10万3,872人）と増加し、降客数も13万3,996人（前年12万2,782人）と増加した。

6. 消費者物価指数

12月の宮崎市の消費者物価指数は、100.9で前年同月比1.4%上昇した。

これを費目別にみると、光熱・水道（同4.7%増）、諸雑費（同3.4%増）など6費目は上昇したものの、保健医療（同0.5%減）、住居（同0.4%減）など3費目は下落した。

7. 企業倒産

1月の企業倒産件数（負債額1,000万円以上）は、3件で前年同月比50%減となった。負債総額は12億3,700万円で前年同月比123.7%増と3カ月連続で前年を上回った。

業種別では、製造業1件、一次産業1件、医業1件となっている。

8. 雇用情勢

12月の有効求人倍率は、0.86倍で前月から0.02^{ポイント}の改善となった。

新規求人数は、6,227人で前年同月比6.0%増となった。情報通信業（同78.2%増）、製造業（同22.0%増）など9業種が増加となった一方で、生活関連サービス業・娯楽業（同23.0%減）、卸売・小売業（同5.7%減）など9業種が減少した。

雇用保険受給者数は、5,508人で同2.3%減と19カ月連続で減少した。

〈今月のトピックス〉～ 平成 24 年の農業産出額

農林水産省によると、宮崎県の平成 24 年の農業産出額は、3,036 億円（前年比 5.6%増、全国 7 位）となり、4 年ぶりに増加した。3,000 億円台を回復するのは 3 年ぶり。口蹄疫や高原性鳥インフルエンザからの回復が進む畜産部門が 1,662 億円（同 8.0%増）で農業産出額全体を押し上げた。

全国の産出額は 8 兆 6,104 億円（同 3.4%増）。都道府県別にみると、1 位が北海道（10,536 億円）、以下、茨城（4,281 億円）、千葉（4,153 億円）、鹿児島（4,054 億円）、熊本（3,245 億円）の順となっている。

農業産出額の推移

